

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



小林市元気なまちづくり支援補助金
まちづくりに取り組む団体を支援
平成 25 年度の「元気なまちづくり支援補助金」に 6 団体が採択

小林市元気なまちづくり支援補助金は、まちづくりに取り組む団体を支援するため、平成 19 年に創設されました。市民の創意を活かし、将来にわたり協働による豊かで、魅力的な活力ある地域の実現が目的です。補助金は、団体の活動段階（①始業期、②成長期、③自立期）に応じて申請・交付できます。

今年度は 6 団体から申請があり、6 月 2 日に公開選考会が開催されました。選考委員会による厳正な審査の結果、6 団体すべての事業が採択されました。採択された団体・事業概要などは以下のとおりです。

問 市民協働課 TEL 23-1148

◆始業期めばえ支援補助金

(単位：円)

No	団体名	事業名	総事業費	うち補助金
1	北きりしま移住支援センター	移住支援で元気なまち発見	125,000	100,000
	事業概要	移住や保養のニーズがあるものの、それに対応する事業が少なく、情報提供もされていない。そこで、元気なまちづくり支援事業を活用し、①ニーズのPRと支援側のマッチング、②滞在の支援、③交流による相互理解を行う。		

◆成長期はぐくみ支援補助金

(単位：円)

No	団体名	事業名	総事業費	うち補助金
1	NPO法人 エコワールドきりしま	大規模災害時における西諸県郡のサポート体制づくり	150,000	105,000
	事業概要	霧島火山の活動と日向灘・南海トラフ巨大地震、大規模災害時に備え、住民互恵のネットワーク化を図り、西諸県郡のサポート体制づくりに資する。		
2	シネマ倶楽部スバル座	映画上映サークル	396,000	222,000
	事業概要	映画館のない小林市で、少しでも多くの市民の方々と一緒に、大スクリーンで映画を鑑賞する。単に映画を上映するだけでなく、様々なテーマの作品を選び、他団体との共催なども視野に入れ、今まで交わることのなかった人々が交流する機会を生み出す。		
3	小林市楽しい家庭菜園講座研究会	小林市楽しい家庭菜園講座研究会	337,000	212,000
	事業概要	市民の健康意識の向上に伴い、食の安全・安心の関心が深まり、環境改善への期待が高まっている。健康や環境・安全面から化学肥料と農業依存の現状を見直し、有機栽培による安全・安心な野菜作りをすることによって、小林市を新たな有機農業モデルタウンとしての素地を確立していきたい。		
4	市民団体 カタロウ会	「霧島山麓そば処こばやし」	440,000	228,000
	事業概要	小林市のそばは良質産地でありながら、その 60%は市外に販売されていると言われていた。そばの品質も良く古くより家庭料理として食べられており、そばの美味しいまちとしてPRし、観光と農業を結び地域の活性化を図る。		
5	有機農法によるホンモノ米づくりプロジェクトチーム	有機農法によるホンモノ米づくりプロジェクトチーム	238,000	133,000
	事業概要	現在主流である化学肥料中心の米づくりを、有機農法による米づくりに移行していき、取り組む人々の食生活環境を改善し健康主体の地域を確立する。		

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

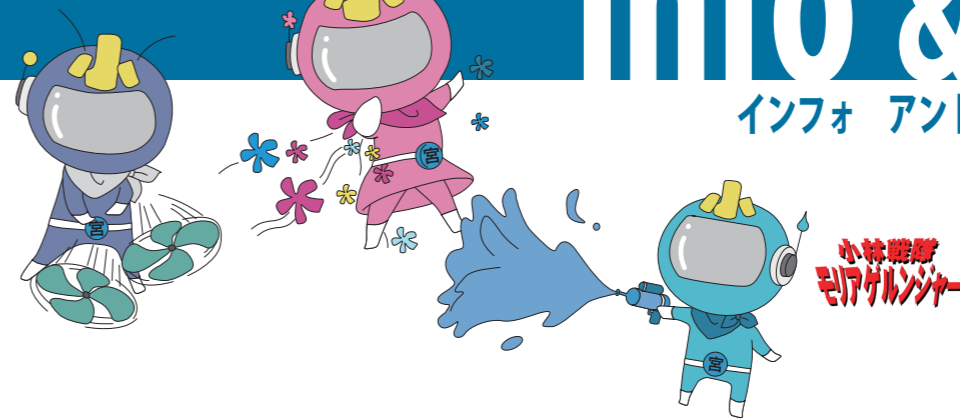
小林戦隊
リアゲルンジャー

も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校2年生 海蔵楓寧さんが小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



きずな協働体・吉都線 100 周年
ヒマワリが満開の西小林駅に
住民ら 70 人が苗を植栽



ふるさとこばやし定住促進事業
住みたい住み続けたいまちへ
定住促進委員会が発足



苗を植える児童ら。7月下旬から8月上旬に見頃を迎える見込みで、花見会も開催予定です

6月12日、西小林駅ホーム跡地にヒマワリの苗が植えられました。植えられた苗は3,400本で、吉都線100周年記念事業小林市実行委員会から提供されたもの。植栽には、西小林小の児童、北西一区老人クラブ、住民ら70人が参加しました。今後は、にっこばまちづくり協議会が管理をしていきます。同協議会環境・美化部会のしもおきあつし局長は、「西小林に、四季を通じて花を咲かせていきたい」と話していました。

6月6日、中央公民館で第1回ふるさとこばやし定住促進委員会が開催されました。委員の委嘱を受けたのは、一般公募を含め、商業、農業や地域など各分野の団体から推薦された12人。委員会では、市が30年後も人口を維持するまちになるため、協議を重ねていきます。会長に任命された小林商工会議所専務理事の岡本直一郎さんは「地域資源に恵まれた小林市を、住みよいまちにしていきたい」と意気込みを語りました。



肥後市長から委嘱を受ける委員。各委員の経験や委員会で出た意見を反映し、定住施策が検討されます